※令和４年度以降入学生用

学校番号	102

令和８年度　学　国際文化科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
学国際文化	（学）ドイツ語文化Ⅱ	2	3	「Szenen 1 heute aktuell 新スツェーネン１　場面で学ぶドイツ語」（三修社）

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

ドイツ語文化Ⅱでは、ドイツ語文化Ⅰで学んだ知識を基に場面に適した表現を定着させ、旅行などの場面で実際に使えるフレーズを増やしながら会話力・応用力を高めます。総合的な学力向上を図るために独検（５級・４級）にも挑戦し、状況説明や意見表明、長文読解やメールや手紙を書くなどの実用的能力の向上を目指します。最終的には旅行に必要とされる程度の「話す」、「聞く」、「書く」、「読む」能力をバランスよく発展させることを目標とします。また、歴史や生活習慣、映画鑑賞など様々な側面から異文化を紹介することによりその理解を深め、異文化・自文化への省察を促します。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・長めの対話や説明文などを聞いて、キーワードから会話の流れを把握し、情報の概要を理解することができる。 ・リズムやイントネーションなどのドイツ語の音声的な特徴に注意しながら、内容を意味単位のかたまりで聞くことができる。	・長めの説明文やテキストなどを読んで、情報の概要をとらえることができる。 ・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながらスピーディーに読むことができる。	・基本的な語彙や表現を無理なく用いて、相手とスムーズに質疑応答をすることができる。 ・正しい発音やリズム、イントネーションなどのドイツ語の音声的な特徴に注意しながら流暢に話すことができる。	・正しい発音やリズム、イントネーション、文メロディーなどの音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに流暢に話すことができる。 ・身近なトピックやテーマについて定着させた既習の語彙・表現を使って、自分の意見を簡単に述べることができる。	・簡単なテーマについて、既知の語彙や表現を用いて比較的長い文を書くことができる。 ・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら比較的早く書くことができる。

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の４技能について、実際のコミュニケーションにおいて目的や場面、状況などに応じて活用できる知識・技能を正しく身に着けている。 外国語の学習を通して、言語の働きや役割などをより良く理解している。	コミュニケーションを行う場所・目的・状況などに応じて日常的な話題について、重要な情報や自分の考えなどを外国語で的確に理解したり、適切に伝えあったりしている。	聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら主体的に自分の意見や考えなどを話したり書いたりして、より意欲的・積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	L6 物と買物 人称代名詞および指示代名詞の１格(主格)と４格(直接目的語) ３格を伴う動詞 交通機関・建物/施設への行き方を尋ねる	聞くこと	a: 持ち物の単語や買物に関する表現を正しく聞き取ることができる。 b: 身近な話題（買物）に関する会話を聞いて、話の要点をとらえることができる。 c: 身近な話題（買物）に関する会話を聞いて、話の展開や話し手の意図を把握しようとしている。	リスニング テスト
		読むこと	a: 文の構造や文法（指示代名詞 das の使い方と定冠詞・人称代名詞・指示代名詞の１格(主格)/４格(直接目的語)を理解しながら読むことができる。 b: 買物に関する文章を読み、場面や状況を把握しながら、要点をとらえることができる。 c: 買物に関する文章を読み、場面や状況を把握しながら、要点をとらえようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 買物の場面で使う語句や表現、道順を尋ねる言い回しなどを理解している。 b: 買物や道順を尋ねる場面で自分の要望や意思を伝え、やり取りを続けることができる。 c: 買物や道順を尋ねる場面で自分の要望や意思を伝え、やり取りを続けようとしている。	スピーキング （アクティビティ/ 授業観察）
		書くこと	a: 買物の場面で使う語句や表現、道順を尋ねる言い回しなどを適切に使って書くことができる。 b: 買物の場面に適した表現を状況によって使い分け、対話文を書くことができる。 c: 買物の場面に適した表現を状況によって使い分け、自分の要望や意思を意欲的に相手に伝えようとしている。	定期考査 （ライティング）
	中間考査			
	L7 休暇の後 現在完了形・過去分詞 L8 住居 場所を表す前置詞・冠詞の３格 人称代名詞の３格	聞くこと	a: 過去分詞や現在完了形の文体、住まいに関する語彙や表現などを正しく聞き取ることができる。 b: 過去の事柄や住まいに関する会話を聞いて、話の展開や話し手の意図を把握している。 c: 過去の事柄や住まいに関する会話を聞いて、話の展開や話し手の意図を把握しようとしている。	リスニング テスト
		読むこと	a: 文法（時制の違い）を理解して読むことができる。部屋の中の家具や物の位置関係を表す前置詞を理解している。 b: 日常的な話題（過去の事柄や住まい）に関する独文を読み、具体的な数字や情報をとらえながら、話の展開や書き手の意図を把握している。 c: 日常的な話題（過去の事柄や住まい）に関する独文を読み、具体的な数字や情報をとらえながら、話の展開や書き手の意図を把握しようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: コミュニケーションを円滑にする言動（うなずき・聞き返し等）の働きを理解しながら、過去の事柄や自分の部屋について話すことができる。 b: 日常的な話題（過去の事柄や住まい）に関して、自分の日常生活での出来事を現在完了形で伝えることができる。また、自分の部屋の様子を説明することができる。 c: 自分の日常生活での出来事を現在完了形で積極的に伝え、相手にも関心をもって尋ねながら、やり取りを続けようとしている。自分の部屋の様子がきちんと伝わるよう詳しく説明しようとしている。	スピーキング （アクティビティ/ 授業観察）
		書くこと	a: 過去分詞の作り方や現在完了形の文のしくみを理解し、現在形の文章を現在完了形で書き換えることができる。場所を表す前置詞の意味と使い方を理解している。 b: 過去の事柄について、時制の違いと文のしくみに注意しながら、自分の日常の出来事を書くことができる。前置詞の意味と使い方を理解しながら、自分の部屋の様子を書くことができる。 c: Ｅメールの様式に従って、 自分の日常の出来事を現在完了形で書き、意欲的に相手に伝えようとしている。住まいや部屋について相手が説明した事柄をスケッチすることができる。	定期考査 （ライティング）
	期末考査			

※令和４年度以降入学生用

2	L9 時刻と日付 時を表す前置詞・分離動詞・序数 時刻・時間・日付・誕生日・一日の生活 L10 街と大学 命令形・方向を表す前置詞	聞くこと	a: 日常生活で必要な時刻や日付に関する会話から、必要な情報を聞き取ることができる。 b: 日常生活に必要な時刻や日付に関する会話から、話の要点をとらえることができる。 c: 日常生活に必要な時刻や日付に関する会話から、話の展開や話し手の意図を把握しようとしている。	リスニング テスト
		読むこと	a: 文法（非人称動詞の主語 es、時を表す前置詞、分離動詞、序数）の使い方を理解し、内容を理解することができる。 b: 時刻や日付を含む日常生活に関する独文を読み、具体的な数字や情報をとらえ、話の展開や書き手の意図を把握している。 c: 時刻や日付を含む日常生活に関する独文を読み、具体的な数字や情報をとらえ、話の展開や書き手の意図を把握しようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 日常生活を時系列で表現するための語句、表現、言い回しを理解し、適切な文法を用いて話すことができる。 b: 自らの日常生活や行事予定、誕生日などを相手に伝え、適切な疑問詞を使って、相手とやり取りを続けることができる。 c: 自らの日常生活や行事予定や誕生日などを伝えようとする積極的な態度や、相手の話すことも理解しようとする意欲的な態度が見られる。	スピーキング （アクティビティ/ 授業観察）
		書くこと	a: 日常生活を時系列で表現するための語句、表現、言い回しを理解し、適切な文法を用いて書くことができる。 b: 自らの日常生活を時系列で表現するための語句、表現、言い回しを理解し、より詳細に書くことができる。 c: 自らの日常生活を時系列で表現するための語句、表現、言い回しを用いて、意欲的に相手に伝えようとしている。	定期考査 （ライティング）
	中間考査			
	L11 休暇の前 話法の助動詞・場所と方向を表す前置詞 L12 体験と経験 sein/haben の過去人称変化	聞くこと	a: 身近な話題（休暇の予定・旅行）に関する会話から、必要な情報を聞き取ることができる。 b: 身近な話題（休暇の予定・旅行）に関する会話から、話の要点をとらえることができる。 c: 身近な話題（休暇の予定・旅行）に関する会話から、話の展開や話し手の意図を把握しようとしている。	リスニング テスト
		読むこと	a: 文法（話法の助動詞・場所と方向を表す前置詞・sein/haben の過去形）の使い方と構造を理解することができる。 b: 身近な話題（休暇の予定・旅行）に関する独文を読み、話の展開を把握することができる。 c: 身近な話題（休暇の予定・旅行）に関する独文を読み、意欲的に内容を理解しようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 身近な話題（休暇の予定・旅行）を表現するための語句、表現、言い回しを理解し、適切な文法を用いて話すことができる。 b: 身近な話題（自らの休暇の予定・旅行）を相手に伝え、適切な疑問詞を使いながら、相手とやり取りを続けることができる。 c: 身近な話題（自らの休暇の予定・旅行）を相手に積極的に伝えようとする態度や、相手の話すことも理解しようとする意欲的な態度が見られる。	スピーキング （アクティビティ/ 授業観察）
		書くこと	a: 身近な話題（休暇の予定・旅行）を表現するための語句、表現、言い回しを理解し、適切な文法を用いて書くことができる。 b: ドイツへのバーチャルトラベルを想定し、適切な語句、表現、言い回しを使って、旅行先から先生へ手紙を書くことができる。 c: 自分が想定したドイツ旅行で起こったであろう出来事や今後の予定について、意欲的に伝えようとする内容になっている。	定期考査 （ライティング）
	期末考査			
		聞くこと	a: 一般的な日常生活に関する会話から必要な情報を聞き取ることができる。 b: 一般的な日常生活に関する会話から、要点や話し手の意図を把握することができる。 c: 一般的な日常生活に関する会話を聞き、話の展開や話し手の意図を把握しようとしている。	リスニング テスト
		読むこと	a: 今までに学んだ文法事項の構造や表現の意味を理解しながら、一般的な日常生活に関する文章を正しく読むことができる。 b: 一般的な日常生活に関する文章を初見で音読し、概要を理解したり、要点を把握したりすることができる。	リーディング 音読テスト

※令和４年度以降入学生用

			c: 一般的な日常生活に関する文章を初見で音読し、概要を理解したり、要点を把握しようとしている。	
		話すこと (やり取り)	a: 独語の単語やフレーズを正しく発音し、シーンに合った表現や適切な文法を理解・活用しながら、話をすることができる。 b: 一般的な日常生活で見られる様々な場面に応じて、相手の話す内容に対し適切に応答し、自分の考えを伝え合うことができる。 c: 一般的な日常生活で見られる様々な場面に応じて、相手の話す内容に対し適切に応答し、自分の意見を主体的、意欲的に伝えようとしている。	スピーキング (アクティビティ/ 授業観察)
		書くこと	a: 自分の書きたいテーマについて、既習の文法事項を駆使し、効果的に語彙、文法表現を使うことができる。また、読み上げられた独語の文章を正しく書き取ることができる。 b: 自分の書きたいテーマについて、既習の文法事項を駆使しながら、自分の考えを適切に伝えることができる。また、読み上げられた独語の文章を素早く、正しく書き取ることができる。 c: 自分の書きたいテーマについて、既習の文法事項を駆使しながら、自分の考えをまとめて伝えようとする態度が見られる。また、読み上げられた独語の文章を素早く、正しく書き取ろうとしている。	ライティング 課題・書き取り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度